

平成30年度 たつの市商工会「経営発達支援計画」事業評価報告書

事業評価委員会開催日:平成31年4月16日

| 指針別項目・事業 | 数値目標 | 実施結果 | 評価結果 | 委員からのコメント |
|--|--|---|------|--|
| I. 経営発達支援事業の内容 | | | | |
| 1. 経済動向調査に関すること | | | | |
| 経済を取り巻く環境の他、地域の経済動向に関する情報を定期的に提供することで事業計画の策定など経営の発達に役立てる。 | 分析回数 4回 ウェブページによる分析結果の公開 4回 会報等による調査結果の提供回数 4回 | 分析回数 4回 ウェブページによる分析結果の公開 4回 会報等による調査結果の提供回数 4回 | A | ・調査データの活用方法を検討されはどうか ・HPで公表しているが、アクセス数は多いのか(目標値を設定) ・会報は、どれくらい配ったのかわからない |
| 2. 経営状況の分析に関すること | | | | |
| 小規模事業者の経営実態の把握及び経営資源や強み等の分析を行うことにより、効果的な事業計画の策定支援につなげる。 | 巡回相談件数 180件 窓口相談件数 70件 セミナー開催回数 3回 セミナー参加事業者数 35社 経営分析件数 25社 | 巡回相談件数 356件 窓口相談件数 391件 セミナー開催回数 3回 セミナー参加事業者数 47社 経営分析件数 26社 | A | ・目標件数を大きく上回っており、達成できている ・指導後の満足度のアンケート調査を実施されてはどうか ・PDCAを実施し、目標値など設定されてどうか |
| 3. 事業計画策定支援に関すること | | | | |
| 小規模事業者の経営課題を解決するために伴走型の指導・助言を行い、事業計画の策定支援を実施する。 | 事業計画作成セミナー 参加事業所数 15社 事業計画策定件数 10件 経営革新計画策定 2件 | 事業計画作成セミナー 参加事業所数 13社 事業計画策定件数 8件 経営革新計画策定 0件 | B | ・未達成の項目があり、なぜできなかった検証する必要があるのはいか ・効果のない(ニーズの無い)ものは、実施しないほうがよい ・他商工会の取り組みとして、経営革新につき一人1件と、ノルマを課し、経営革新取得事業所を事務所に掲示する取り組みをしている商工会がある。 ・事業承継については、独自のフォーマットを用いて力を入れている商工会があり、参考にしてはどうか。 ・助成金、補助金の採択件数については、評価できる |
| | 創業・第2創業セミナー 参加事業所数 10社 創業等計画策定 5件 | 創業・第2創業セミナー 参加事業所数 12社 創業等計画策定 9件 | | |
| | 事業承継セミナー 参加事業所数 10社 事業承継計画策定 5件 | 事業承継セミナー 参加事業所数 22社 事業承継計画策定 1件 | | |
| | 販路開拓計画策定 2件 | 販路開拓計画策定 0件 | | |
| 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること | | | | |
| 小規模事業者が立案した事業計画について、必要に応じて専門家や他の支援機関と連携を図り課題解決に努め、計画推進達成のための経営支援を行う。 | 事業計画策定事業所フォローアップ数 10社 経営革新計画策定事業所フォローアップ数 2社 事業承継計画策定事業所フォローアップ数 5社 創業等計画策定事業所フォローアップ数 5社 販路開拓計画策定事業所フォローアップ数 2社 | 事業計画策定事業所フォローアップ数 8社 経営革新計画策定事業所フォローアップ数 1社 事業承継計画策定事業所フォローアップ数 1社 創業等計画策定事業所フォローアップ数 4社 販路開拓計画策定事業所フォローアップ数 0社 | B | ・フォローアップの手法を検討されたらどうか ・補助金が採択されなければ、フォローアップはしないのか ・補助金の採択結果を知りたい ・他の商工会から取り組み方法など情報交換などすればどうか |
| 5. 需要動向調査に関すること | | | | |
| 小規模事業者が取り扱う商品や製品及びサービスにかかる需要の動向に関する情報・ニーズ等を個社毎に調査・分析し提供することで、事業計画の策定や新商品の開発に活かす。 | 室津の牡蠣養殖業者 収集する情報件数 1社当たり100件 | 室津の牡蠣養殖業者 支援する個社数 8社 収集する情報件数 全体で219件 | C | ・アンケート調査を専門業者に依頼されたらどうか ・この調査に効果があったのか(活用されたのか) ・アンケート数が少なければ、効果のあるフィードバックができない ・次年度の調査には工夫が必要ではないか |
| 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること | | | | |
| 商談会、展示会などの商談機会の情報を提供するとともに、商談の成立確立を高める体制を整える。併せてネット販売などITを活用した販路開拓支援を行う。 | 商談会、展示会等への出展支援者数(BtoB) 商談成立件数 2件 売上増加事業所数 2社 | 商談会、展示会等への出展支援者数(BtoB) 商談成立件数 1件 売上増加事業所数 0社 | B | ・販路開拓支援は、ニーズも高く、今後も継続してほしい ・展示会への出展は地域の活力を生む取り組みである。 ・物産展は、一時的には効果があるが、長い期間では効果が薄い ・たつの市との情報共有を徹底していきたい ・市川町では、サツマイモを特産品とするユニークな取り組みがある |
| | 物産展における出展支援者数(BtoC) 売上金(1社当たり)5万円 | 物産展における出展支援者数(BtoC) 売上金(1社当たり)15万円 | | |
| | IT活用セミナー(BtoC) ITセミナー開催回数 1回 参加事業所数 15社 | IT活用セミナー(BtoC) ITセミナー開催回数 1回 参加事業所数 22社 | | |
| | | | | |
| II. 地域経済の活性化に資する取り組み | | | | |
| 1. 地域資源を活用した地域活性化事業 | | | | |
| 地域独自の特産品を開発することで地域の活性化を支援する。 | 試作品の作成 2件 試作品の商品化 1件 販路開拓支援 2件 | 試作品の作成 11件 試作品の商品化 1件 販路開拓支援 1件 | B | ・ラディッシュ事業の方向性が見えない ・試作品から商品化につなげてほしい ・積極的に試作品を開発している点は評価ができる ・高校生ビジネスグランプリという、事業者以外と連携する取り組み例もあ |
| 2. 地域イベントを活用した地域活性化事業 | | | | |
| イベントを通して商工業、観光事業の支援に結び付ける。 | たつの市商工産業まつり 開催回数 1回 出展者数 41店 来場者数 5,300人 開発特産品の出品数 3品 | たつの市商工産業まつり 開催回数 1回 出展者数 41店 来場者数 4,500人 開発特産品の出品数 5品 | B | ・来場者は概ねどの地域から来られるのかを再確認する ・来場者が増えるように周知方法を検討されてはどうか |
| III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み | | | | |
| 1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること | | | | |
| | | | A | ・行政、他機関等との会議に、土業(診断士等)の参加を検討してはどうか |
| 2. 経営指導員等の資質向上に関すること | | | | |
| | | | C | ・経営発達支援推進会議を計画通り実行できていない |
| 3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること(委員長による総括評価) | | | | |
| | | | B | ・概ね達成できているが、未達事業もあり、次年度以降の課題である |

委員：中小企業診断士・荒木慎吾氏(委員長) / たつの市産業部商工振興課 正田晴彦氏 / 日本政策金融公庫姫路支店長 山脇智博氏 / 播州信用金庫揖保川支店長 大谷博文氏